

町田市議会だより



臨時号

平成30年3月23日発行

編集：議会運営委員会 発行：町田市議会 〒194-8520 町田市森野2-2-22

市議会ホームページもご覧ください。

<http://www.gikai-machida.jp/>

町田市議会へのご意見をお寄せください。

電話 042-724-4049 FAX 050-3161-7663
eメール gikai@city.machida.tokyo.jp



・お寄せいただいたご意見の要旨が広報紙等で紹介される場合がございます。ご了解の上、送信ください。
・第3者の誹謗、中傷、個人情報などは送信しないでください。
・原則として個別の回答は行いません。

スマートフォン用QRコード

若林 章喜 議長 佐藤 和彦 副議長 を選出

改選後の3月定例会では、3月9日に正・副議長の選挙、3月12日に常任委員会などの議会人事の改選等が行われました。
若林章喜議長（自由民主党）、佐藤和彦副議長（まちだ市民クラブ）を選出しました。

就任のあいさつ



議長 若林章喜



副議長 佐藤和彦

3月の市議会定例会におきまして、議員各位のご推挙により議長並びに副議長の要職に就任いたしました。
責務の重大さを自覚し、市民本位の議会運営に努めてまいります。

今年、町田市は市制施行六〇周年を迎え、日々、生じる行政課題に的確に対応し、市民の皆さまとともに、さらなる魅力ある「まちづくり」を目指してまいります。
また、市議会の機能の中には行政のチェックや政策立案

などがありますが、いずれも住民ニーズの把握が欠かせません。

市民の方々から、平成30年2月の市議会議員選挙で選ばれた16期の新しい市議会議員とともに、これからも、「開かれた議会」を目指して、さまざまな改革に取り組んでまいります。

ぜひ、会議の傍聴やホームページ、議会だより等をご覧いただき、市議会に関心を持っていただけると幸いです。
今後とも町田市議会にご期待下さいますとともに、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

会派構成

まちだ市民クラブ

○森本せいや 東 友美
ちだ 伸也 佐藤 和彦
わたべ真実 戸塚 正人

保守の会

○白川 哲也 深沢ひろふみ
おげき重太郎 吉田つとむ
大西 宣也

日本共産党

○細野 龍子 田中 美穂
佐々木智子 殿村 健一

諸派

○新井よしなお 矢口 まゆ

諸派

○友井 和彦

○山下てつや 村まつ俊孝
斉藤かつひろ おんじょう由久
松葉ひろみ おく 栄一

○自由民主党 熊沢あやり 星だいすけ
木目田英男 石川 好忠
渡辺厳太郎 松岡みゆき
いわせ和子 三遊亭らん丈
若林 章喜 藤田 学
佐藤伸一郎 おさむら敏明

○公明党 山下てつや 村まつ俊孝
斉藤かつひろ おんじょう由久
松葉ひろみ おく 栄一

会 派 名	人 数
自由民主党	12
公 明 党	6
まちだ市民クラブ	6
保守の会	5
日本共産党	4
諸 派	3
計	36

会派の抱負

会派とは、市民の生活に密着した様々な施策を市政に反映させるため、同じような考え方や意見を持つ議員同士のグループのことをいいます。3名以上で構成される会派について抱負を掲載しています。

自由民主党

我々、自由民主党会派は、先人達が築き上げてきた日本の伝統と文化を尊び、地域の中に分け入り、そこで聞こえた声や思いを形にするべく、責任と実行力をもって、行政に対し積極的に政策を提言する会派です。

①次世代を担う子供たちのために、よりよい教育環境の整備と充実した子育て支援に取り組めます。
②高齢社会に対応した社会環境を整備し、住み慣れた地域で過ごせるよう、公共交通の充実拡張等に取り組めます。
③2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、スポーツ環境の充実を図り、スポーツ並びに文化の発展に取り組めます。

これらを踏まえて、住民の福祉の増進に努めます。

市民の皆様は、会派宛に、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

公明党

私たち公明党は住民が自らの意思と責任で地域のことを決定することが新しい地方自治のあり方であると考え、市民目線に重点を置いた政策の実現に取り組んで参ります。

具体的には「多摩都市モノレールの町田延伸・小田急多摩線延伸に向けた環境整備」、「身近な地域で多様な健康づくりの場の提供」、「文化・芸術ホールの建設・スポーツ環境の充実」を図っていきま

す。さらに「小中学校給食の無償化」、「交通不便地域の整備と充実した子育て支援に取り組めます。

まちだ市民クラブ

私たち「まちだ市民クラブ」は、2つの政党及び地域政党・無所属からなる議員6名の会派です。

地方自治体の政治は、市長と議会の二元代表制です。国

政や都政の枠組みに捉われず、議会は市民に近いところに立つて市政に対し発言し、行動することが何より重要です。

私たちは、市政に対する判断をもとに結集し、市民の目

保守の会

保守の会は、歴史・伝統・文化を大切にしながら、変化し続ける社会に対応すべく、積極的な政策提言をする会派です。また、個々人の自由な発想や主張を大切にし、政党の垣根を超えた会派です。

地域性・必要性・成長性、費用対効果・政策の優先順位などを勘案し、各議案に対しては是非々々で判断します。少子高齢化が進み、限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう、業務効率化・生産性向上を目指すとともに、

日本共産党

年金や実質賃金は下がっているのに、物価や公共料金は上がる一方で市民のくらしは大変です。こんな時こそ、町田市が「住民の福祉の増進」という自治体本来の役割を果たすべきです。現市政は「都市間競争に打ち勝つまちづくり」を掲げ、中心市街地の再開発やハコモノ整備に余念がありません。その陰で、町田市は公共料金などの市民負担増や、福祉やサービスの削減を進めてきました。市民の中に不安や矛盾が広がり、国保